



TITLE:

遊星界(5月)

AUTHOR(S):

CITATION:

遊星界(5月). 天界 1937, 17(193): 281-281

ISSUE DATE:

1937-04-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167455>

RIGHT:

遊 星 界 (5 月)

水星 月初めは太陽の東側牡牛座を逆行中であるから、日没直後の西の空に発見出来る。光度は1.8等、10日降交點を通り、11日夕方内合となる。この日、臺灣邊りで見られる太陽面を14年ぶりで経過する珍現象がある。(別頁参照)内地で見られないのは惜しい。24日羊座で停留となり順行に移る。

金星 魚座を逆行中の金星は9日停留となり以後順行。1ヶ月ぶりで「曉」の明星となつて、早曉の東天に-3.8等の麗光を發することになる。24日最大光輝(-4.2等)となつて晩春の黎明を祝福する。望遠鏡裡には鋭く缺けた鎌形を見出す。月末、羊座に入つてこの月を終る。

火星 待ちこがれた火星だ。先月中頃から蝸座を逆行してゐる。月末は20時東天に昇り、光度-1.3等、視半徑8.2秒、20日對衝となる。この頃光度-1.8等。大きく赤い火星はその敵アンタレスと並んで光芒を競ひつゝ、愈々地球へ接近。28日約7600萬軒の距離にまで最接近する。この頃光度-1.7等、視半徑9.2秒、月末には17時半頃東天に昇り、22時頃南中であるから、愈々觀望の絶好期である。

木星 この月は深夜の星として夜更けの東天に昇り、射手座を順行しつゝ、16日に停留して後逆行に移る。南の中天に-2等前後の光輝を放つて、相變らず悠然たるものである。

土星 早曉の星として、深夜の東天に春分點近くに1.3等の光を放つてゐる。暫くぶりで土星環も見ものであらう。

天王星 土星に引續いて曉の空に昇る。羊座にあつて光度6.2等。

海王星 獅子座を逆行中。28日停留し後順行に移る。光度7.7等。

冥王星 蟹座の西端に悠々自適然としてゐる。

×

×

×

×

星座 天頂を取巻く牧夫と大熊、獅子と乙女が、前者の争鬭に對し、後者の優撫を現はし、皐月の空の演技は格別の眺め、喝采々々!!